

(科目名) 沿岸環境保全学 (英訳) Coastal Environment Conservation	(群) B群 (単位数) 2単位 (開講期) 前期 (週コマ数) 1コマ (授業形態) 講義 (対象回生) 全回生 (対象学生) 全学向 (曜時限) 金3
(所属部局)(職名)(氏名)	
フィールド科学教育研究センター 教授 山下 洋	
フィールド科学教育研究センター 教授 柴田 昌三	
非常勤講師 磯崎 博司	
非常勤講師 松田 治	
非常勤講師 萱場 祐一	
フィールド科学教育研究センター 特定准教授 佐藤 真行	

(授業の概要・目的)

人類の80%は沿岸域に生活の基盤を置いている。そして沿岸海洋は、そこにすむ人間の活動に起因する環境影響が集約される場所であるため、深刻な危機に直面している。このような沿岸域の環境を保全するために有効な方策を立案するためには、海洋のみならず陸域へも目を向ける必要があると同時に、理科系に加えて、法律・経済など文科系の視点からも検討する必要がある。そこで本講では、沿岸環境の保全と管理に関連する事項を多角的に論究する。

(授業計画と内容)

以下のような課題について、1課題あたり1~2週の授業を行う予定である。

- ・イントロダクション 山下洋(フィールド研教授)
本講の概要説明をおこなう。
- ・沿岸海洋学の基礎 山下洋(フィールド研教授)
沿岸の海洋を理解するのに必要な基礎的事項の解説を行う。特に森林が沿岸環境に与える影響について詳説する。
- ・河川管理と沿岸海洋との連環 萱場祐一((独法)土木研究所自然共生研究センター長)
河川管理の理念・現状・課題などについて解説し、沿岸海洋との連環についても論ずる。
- ・森里と沿岸海洋との連環 柴田昌三(フィールド研教授)・山下洋(フィールド研教授)
沿岸環境に重大な影響を与える森林および里と沿岸海洋との関連について解説する。
- ・森里海の持続的な経済マネジメントシステム 佐藤真行(フィールド研特定准教授)
森里海の経済的な相互連関において、環境への影響を考慮すると、どのような経済システムが持続性確立の上で最適なのかを解説する。
- ・環境法学 磯崎博司(明治学院大学・教授)
環境管理に不可欠な、行政の役割と関係の国内法令・国際法などについて解説する。
- ・統合的沿岸環境管理論 松田治(広島大学・名誉教授)
沿岸環境を統合的に管理するために必要な論点を解説する。

沿岸環境保全学(2)

(成績評価の方法・基準)

各講師が講義時間内で、課題を与え試験をする。各講師の評価を合算し、出席状況を加味して、成績とする。

(その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等))

本講は、平成21年度まで「海域陸域統合管理論」として開講していた講義を、科目名を変更したものであるため、「海域陸域統合管理論」の単位取得者は受講を認めない。
本講は、沿岸の環境保全に必須の文理両面の知見を習得することを目的としているので、理系の内容は文系の学生にとっても理解できるようなものに、また文系の内容は理系の学生にも理解できるようなものになっており、文系・理系を問わず、履習が可能である。

オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。

(分類) 環境と生物学

(履修要件)
特になし

(教科書)
使用しない
(参考書等)
授業中に紹介する

(関連URL)